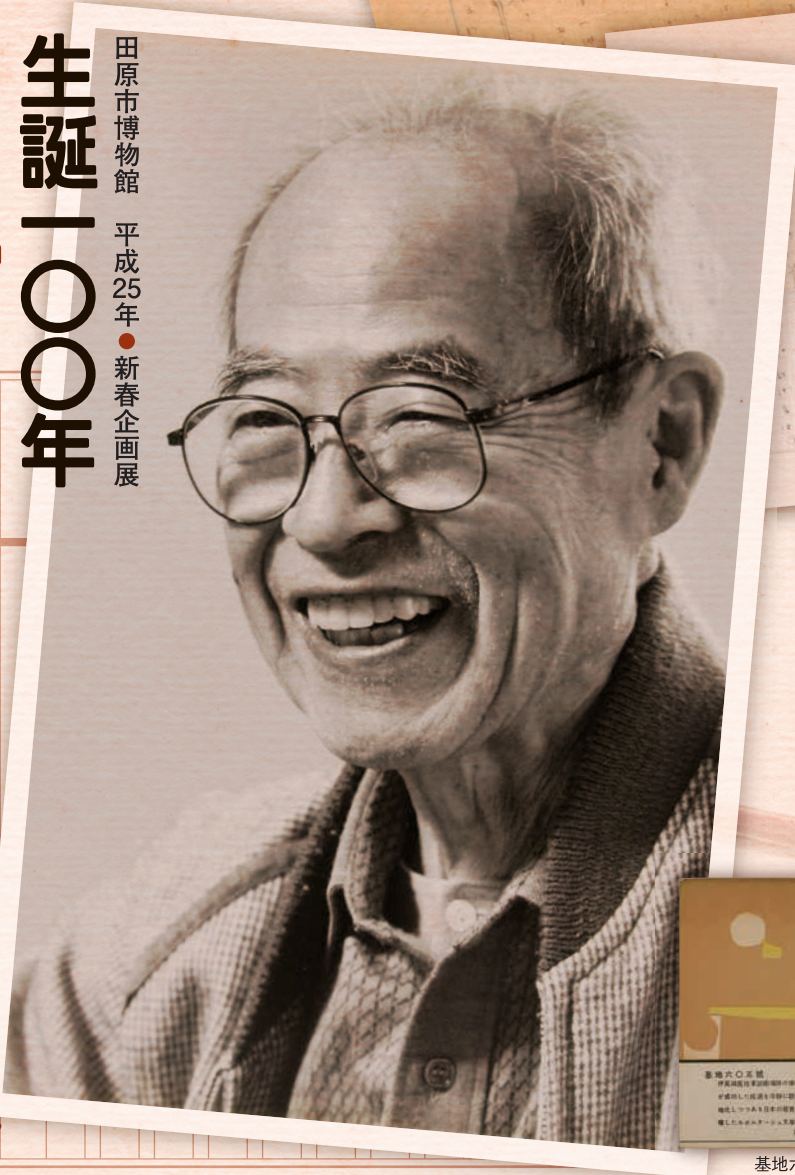


杉浦明平の眼

生誕一〇〇年

田原市博物館 平成25年・新春企画展



『小説渡辺華山』(文庫)



映画『台風騒動記』ポスター



基地六〇五号



町民大会前後

2013年 1月5日(土)—2月11日(月・祝)

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日 ただし1月14日(月・祝)、2月11日(月・祝)は開館し、1月15日(火)は休館します。

観覧料 一般400円(320円)／小・中学生無料
()は20名以上の団体割引料金です。毎週土曜日は高校生も無料。
吉胡貝塚資料館との共通券もご利用ください。

主催 田原市博物館

杉浦明平は、1913年、愛知県渥美郡福江町(現田原市折立町)に生まれた。豊橋中学、第一高等学校、東京帝国大学国文学科と進み、立原道造や寺田透らと同人誌などを創刊した。短歌の「アララギ」に入会し、土屋文明に師事。第二次世界大戦中、郷里に戻り、1955年から町議会議員を務め、その間の見聞を元に、海苔養殖の利権争いを『ノリソダ騒動記』で発表、その後も共産党員の活動記録『基地六〇五号』、映画化もされた『台風十三号始末記』、『夜逃げ町長』などのルポルタージュ記録文学が評判になり、注目を集めた。1962年に共産党から離れた後は、畑仕事にいそしみながら、郷土の渡辺華山をはじめとした江戸時代の文人を取り上げた小説や評論、食べ物エッセイ、翻訳などの多分野で活躍。1971年に『小説渡辺華山』で毎日出版文化賞、1977年に中日文化賞、1995年に『ミケランジェロの手紙』翻訳で日本翻訳出版文化賞の特別功労賞を受賞。

今回は、2010年の企画展に続き、杉浦明平の刊行作品や未発表の書簡などを通し、新たな「みんぺーさん」の魅力を探ります。

期間中の催し物

展示解説

1月13日(日)・2月3日(日)午前11時～
当館副館長鈴木利昌／博物館内
要観覧料

博物館講座(好評開催中)

「渡辺華山を知るために」

1月11日(金)・2月11日(月・祝)午前8時45分～
華山会館

同時開催

渡辺華山生誕220年

重要文化財 渡辺華山関係資料

特別展示室

華山筆重要文化財孔子像、一掃百態図、
馬図(絵馬)、孔門十哲像などを展示

今回の企画展の図録を販売します。出品資料の図版が数多く掲載され、みんぺーさんの若い頃から晩年までの写真や年譜、文献目録も掲載されています。この機会にぜひお買い求めください。

A4版、カラー・1色／128ページ／無線綴じ
価格 1,500円(税込)

田原市博物館 ☎22局1720
<http://www.taharamuseum.gr.jp>